
セミナー日程

第1日目：1月17日（木曜日）

14：00	セミナー受付開始
15：30～16：30	INWC・白馬セミナー ジョイントセッション1
16：30～17：30	INWC・白馬セミナー ジョイントセッション2
17：30～18：30	INWC・白馬セミナー ジョイントセッション3
20：30～21：20	セッション 1
21：20～22：10	セッション 2

第2日目：1月18日（金曜日）

15：30～16：30	セッション 3
16：30～17：30	セッション 4
18：30～20：30	懇親会（INWC2019との合同）

第3日目：1月19日（土曜日）

自由行動・解散

プログラム

第1日目 1月17日 (木)

15:30~16:30 INWC・白馬セミナー ジョイントセッション1

座長: Long Wang (SanBo Brain Hospital, Capital Medical University)
佐野 公俊 (総合新川橋病院)

Cranial keyhole surgery, Concept, Indication, Technique

○Asra AL FAUZI

Department of Neurosurgery, Universitas Airlangga, Dr. Soetomo General Hospital, Surabaya, Indonesia

Step-down infusion 法を用いたバビルツレート療法の有効性と安全性

(Step down infusion therapy; safety and effectiveness of novel barbiturate therapy)

○音琴 哲也、折戸 公彦、吉富 宗健、中村 普彦、竹重 暢之、山本 真文、竹内 靖治、森岡 基浩
久留米大学医学部脳神経外科

Internal Maxillary Artery Bypass with Radial Artery Graft Treatment of Giant Intracranial Aneurysms

○Long Wang、Xiang'en Shi

Department of Neurosurgery, SanBo Brain Hospital, Capital Medical University, Beijing, China/
Teishinkai Hospital, Sapporo, Japan

Surgical treatment for senile odontoid fracture

(Two surgical case reports of elderly patients with odontoid fracture)

○宮原 孝寛、服部 剛典、内門 久明、森岡 基浩
公立八女総合病院 (Yame General Hospital)

16:30~17:30 INWC・白馬セミナー ジョイントセッション2

座長: 堀 智勝 (東京脳神経センター病院)

Michael T Walsh (Department of Neurosurgery, Northwestern University Feinberg School of
Medicine, Chicago, IL, USA)

錐体骨部内頸動脈を巻き込んだ頭蓋底腫瘍摘出のための臨床解剖と手術アプローチ

(Surgical management of lateral skull base tumors which involve the petrous carotid artery)

○野中 洋一、林 直一、松前 光紀、福島 孝徳
東海大学医学部脳神経外科

Frontotemporal epidural approach to giant olfactory meningiomas

○Peter Spangenberg

Department of Neurosurgery, King Faisal Specialist Hospital and Research Center Riyadh, Saudi Arabia

Wet field での脳室内腫瘍摘出術

(Removal of Ventricular Tumor in Wet Field)

○齋藤 清、岩楯 兼尚、小祝 萌、長井 健一郎、蛭田 亮、飯島 綾子、小島 隆生、山田 昌幸、市川 優寛、佐藤 祐介、藤井 正純、佐久間 潤

福島県立医科大学脳神経外科

The “Virtual Skull Base Lab”—3D Animation and Virtual Reality in Surgical Education—

The Northwestern University Experience

○Michael T Walsh、Osaama H Khan

Department of Neurosurgery, Northwestern University Feinberg School of Medicine, Chicago, IL, USA

17:30~18:30 INWC・白馬セミナー ジョイントセッション3

座長： 小林 茂昭（慈泉会相澤病院 脳卒中・脳神経センター）

Grigore ZAPUHLIH (Department of Neurosurgery, SUMPPh, N.Testemitanu”, Kishinev, Moldova)

Surgical treatment in case series of rare symptomatic brain arachnoid cysts in children

○Vasiliki Konofaou¹、Maria Gavra²、Konstantinos Laios³、Michalis Koutzoglou¹

¹Department of Neurosurgery, Children's Hospital "P&A Kyriakou" Athens, Greece

²Department of Radiology, Children's Hospital Agia Sofia, Athens, Greece

³Medical School, National and Kapodistrian University of Athens, Greece

海綿静脈洞外側壁に発生した類皮嚢胞の一手術例

(Infantile dermoid cyst in the lateral wall of the cavernous sinus: A case report and literature review)

○齊藤 敦志、上之原 広司

仙台医療センター 脳神経外科

A tribute to Professor K. Hongo: beyond borders

○Grigore ZAPUHLIH^{1,2}、Ion PREGUZA^{1,2}、Olga Testemitanu¹、Eugen Mindrigan¹、Ruslan Faina¹

¹Department of Neurosurgery, SUMPPh, N.Testemitanu”, Kishinev, Moldova

²Institute of Neurology and Neurosurgery, D.Gherman”, Kishinev, Moldova

Subaruate fossa に埋没した AICA-PICA 共通幹により難治した聴神経腫瘍の一手術例

(A surgical case of vestibular schwannoma with AICA-PICA common trunk penetrating subarcuate fossa)

○坂田 清彦、吉武 秀展、小牧 哲、音琴 哲也、宮城 尚久、中村 英夫、森岡 基浩

久留米大学医学部脳神経外科

20:30~21:20 セッション 1

座長： 西嶋 美知春（西能みなみ病院）
鈴木 倫保（山口大学医学部脳神経外科）

髄液皮下貯留に対するラグビーキャップによる圧迫の有用性について

○窪田 雄樹、後藤 哲哉、神谷 圭祐、西川 明宏、宮岡 嘉就、本郷 一博
信州大学脳神経外科

超音波集束装置を用いた難治性てんかんの治療

○堀 智勝¹、阿部 圭市²、山口 俊夫³
¹東京脳神経センター病院、²東京女子医科大学、³新百合ヶ丘総合病院

Dural arteriovenous fistula in the anterior cranial fossa

○木戸岡 実、伊藤 清佳
京都岡本記念病院 脳神経外科

破裂内頸動脈前壁血豆状動脈瘤に対する治療戦略—外科手術から血管内治療への変遷—

○高橋 賢吉、前岡 良輔、大西 宏之、児玉 裕司、久我 純弘、大西 英之
大西脳神経外科病院

術前シミュレーションと術中所見に違いがみられた破裂前交通動脈瘤症例

○吉岡 裕樹、長尾 裕一郎、坂本 誠、黒崎 雅道
鳥取大学医学部脳神経外科

21:20~22:10 セッション 2

座長： 井上 慶俊（社会医療法人慈恵会 聖ヶ丘病院）
持松 泰彦（横浜市立みなと赤十字病院）

専攻医奮闘記—Hybrid Surgeon の育成を前提とした当科の教育システム—

○前田 拓真、田端 晋也、寺西 亮雄、塚越 瑛介、吉川 信一郎、栗田 浩樹
埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科

内視鏡下被殻出血除去術後に再出血をきたした1例

○安藤 等、小林 亨、後藤 健
星総合病院 脳神経外科

trapping 後早期再発をきたしたくも膜下出血前交通動脈瘤の一例

○吉川 信一郎、塚越 瑛介、前田 拓真、寺西 亮雄、田端 晋也、吉田 馨次朗、石川 博規、
田中 亜弥、池田 俊貴、栗田 浩樹
埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科

多発全身転移を来した atypical meningioma

○土師 康平、五島 久陽、貞廣 浩和、野村 貞宏、鈴木 倫保
山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学分野

「どれが破裂した？」～くも膜下出血で発症した多発性脳動脈瘤の一例～

○和田 直道
諏訪赤十字病院脳神経外科

術後感染コントロールに難渋した一例

○長尾 裕一郎、吉岡 裕樹、坂本 誠、黒崎 雅道
鳥取大学医学部脳神経外科

第2日目 1月18日 (金)

15:30～16:30 セッション 3

座長： 田中 雄一郎 (聖マリアンナ医科大学 脳神経外科)
森岡 基浩 (久留米大学医学部脳神経外科)

急性硬膜下血腫にて発症した再発 Hemangiopericytoma の1例

○林 直一、野中 洋一、松前 光紀
東海大学脳神経外科

C2/3 高位の Forestier 病に対する内視鏡下手術の1例

○服部 剛典、山本 真文、森岡 基浩
久留米大学医学部脳神経外科

頭頸部腫瘍患者に対する特殊な頸動脈閉塞術とその工夫

○塚越 瑛介、米澤 あづさ、笠倉 至言、吉川 信一郎、前田 拓真、寺西 亮雄、田端 晋也、
神山 信也、吉田 馨次朗、栗田 浩樹
埼玉医科大学国際医療センター 脳血管内治療科

統一した手技によるマクロ下 CEA の基本

○吉野 正紀、原 貴行
虎の門病院 脳神経外科

MVD 顔面痛は治ったが ー退院5日後2つの衝撃ー

○田中 雄一郎
聖マリアンナ医科大学脳神経外科

脳幹部海綿状血管腫の2手術例

○原 貴行
虎の門病院 脳神経外科

16:30~17:30 セッション 4

座長： 大西 英之（大西脳神経外科病院）

齋藤 清（福島県立医科大学脳神経外科）

数値流体力学(CFD)を用いた stent-assisted coiling の再発予測に関する検討

○田中 克浩、石田 藤麿、辰巳 亜依、佐藤 丈典、辻 正範、谷岡 悟、霜坂 辰一
三重中央医療センター脳神経外科

数値流体力学(CFD)で評価する脳動脈瘤破裂点の局所血行力学

○辰巳 亜依、石田 藤麿、佐藤 丈典、辻 正範、谷岡 悟、田中 克浩、霜坂 辰一
三重中央医療センター脳神経外科

後下小脳動脈 Tonsillomedullary segment 屈曲部に生じた頭蓋外動脈瘤の一例

○下岡 直
若草第一病院脳神経外科

未破裂中大脳両脈瘤ステントコイル後の増大に対して追加治療時に合併症が起きた症例

○山之内 高志
刈谷豊田総合病院 脳神経外科

微小脳動脈瘤による尾状核出血の一例

○洪 碩佑、吉野 正紀、原 貴行
虎の門病院 脳神経外科

To do, or not to do- 頸部 paraganglioma の一例 -

○五島 久陽、貞廣 浩和、野村 貞宏、鈴木 倫保
山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学分野

治療に難渋した hemangiopericytoma の一例

○森本 将史、岩崎 充宏、疋田 ちよ恵、井中 康史、福田 慎也、佐藤 浩明、山崎 英一
横浜新都市脳神経外科病院

白馬脳神経外科セミナー 歴代会長および開催地

回	開催年	開催地	会長	所属
第1回	1985	樽池高原	杉田虔一郎	信州大学
第2回	1986	樽池高原	杉田虔一郎	信州大学
第3回	1987	樽池高原	杉田虔一郎	信州大学
第4回	1988	樽池高原	杉田虔一郎	信州大学
第5回	1989	富良野	阿部 弘	北海道大学
第6回	1990	志賀高原	小林 茂昭	信州大学
第7回	1991	苗場	田中 隆一	新潟大学
第8回	1992	白馬	小林 茂昭	信州大学
第9回	1993	八甲田山	田中 輝彦	青森県立中央病院
第10回	1994	志賀高原	小林 茂昭	信州大学
第11回	1995	妙高高原	高久 晃	富山医科薬科大学
第12回	1996	留寿都(ルスツ)	阿部 弘	北海道大学
第13回	1997	八方尾根	小林 茂昭	信州大学
第14回	1998	ニセコ	端 和夫	札幌医科大学
第15回	1999	八方尾根	小林 茂昭	信州大学
第16回	2000	安比高原	小川 彰	岩手医科大学
第17回	2001	アルツ磐梯	児玉南海雄	福島県立医科大学
第18回	2002	八甲田山	堀 智勝	東京女子医科大学
第19回	2003	八方尾根	土屋 良武	福井県済生会病院
第20回	2004	富良野	河瀬 斌	慶應義塾大学
第21回	2005	奥志賀高原	本郷 一博	信州大学
第22回	2006	妙高高原	遠藤 俊郎	富山大学
第23回	2007	八方尾根	本郷 一博	信州大学
第24回	2008	トマム	佐野 公俊	藤田保健衛生大学
第25回	2009	八方尾根	高安 正和	愛知医科大学
第26回	2010	白馬	金 彪	獨協医科大学
第27回	2011	ルスツ	宝金 清博	北海道大学
第28回	2012	野沢温泉	稲葉 泉	総合新川橋病院
第29回	2013	八甲田山	西寫美知春	青森県立中央病院
第30回	2014	蔵王	齋藤 清	福島県立医科大学
第31回	2015	志賀高原	本郷 一博	信州大学
第32回	2016	八方尾根	田中 雄一郎	聖マリアンナ医科大学
第33回	2017	越後湯沢	栗田 浩樹	埼玉医科大学
第34回	2018	ルスツ	森岡 基浩	久留米大学
第35回	2019	志賀高原	本郷 一博	信州大学
第36回(予定)	2020	安比高原	鈴木 倫保	山口大学

白馬脳神経外科セミナー 会則

第一章 総則

第1条 本会は白馬脳神経外科セミナーと称する。

第2条 本会の事務局を信州大学医学部脳神経外科におく

第二章 目的および事業

第3条 本会は脳神経外科学の進歩発展に寄与し、より高度な医療の確立をめざすことを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、年1回、総会と学術集会（セミナー）を開催する。

第5条 セミナーでは、脳神経外科疾患の基礎的ならびに臨床的研究の発表を行う。特に手術方法や新しい治療手段・診断方法の開発に関する研究を発表し、相互に意見を交換することによって、その向上と普及をめざす。

第6条 本会の事業年度は毎年4月1日より翌年の3月31日までとする。

第三章 会員および構成

第7条 本会を構成する会員は、脳神経外科医を中心として、脳神経外科疾患の研究・診断・治療に携わるもので、本会の趣旨に賛同する者とする。

第8条 本会の会員になろうとする者は、事務局に入会を申し込み、世話人会の承認を得なければならない。

第9条 本会は、会員の所属する医療施設から世話人を若干名選任する。

第10条 本会には世話人会をおく。世話人会は、第9条の世話人より構成される。

第11条 世話人会は、世話人の互選により代表世話人を1名選出する。

第12条 セミナーの開催は、代表世話人が行う。セミナーへの参加者の募集、研究発表の募集、ならびにセミナーの運営等は、代表世話人に一任する。

第四章 会計

第13条 セミナーへの参加費は別途細則に定める。

第14条 本会運営の経費は、参加費、寄付金およびその他をもって当てるものとする。

第15条 会計年度は毎年4月1日より翌年の3月31日までとする。

第五章 その他

第16条 会則の制定および変更には、総会の承認を必要とする。

附則 (1) この会則は1995年11月1日より実施する。

(2) 細則は別途定める。